

JALグループ、中国の航空会社と提携を拡大！

～日本発中国行きを週間182便から202便へ、JALグループ中国線ネットワーク増強！～

2003年9月29日

第 03086号

JALグループは、2003年冬期ダイヤから中国東方航空(MU)および中国南方航空(CZ)とコードシェアの拡大、ならびに海南航空(HU)と中国国内の乗り継ぎサービスを開始することで各社と合意しました。

JALは、2002年9月から成田、及び大阪－上海線等において、中国東方航空とコードシェアを開始し、日本と中国沿岸部との需要増大に対応してきました。11月2日からは、名古屋－上海線(JAL, MU運航)及び札幌－上海線(MU運航)で新たにコードシェアを開始致します。

中国南方航空(CZ)とは2003年3月から東京－広州線(JAS, CZ運航)において、JAL・JAS・CZ3社によるコードシェアを開始致しました。12月1日からは、大阪－広州線(JAS, CZ運航)にも3社コードシェアを拡大するほか、東京－北京線(JAL運航)でコードシェアを開始致します。12月中には、東京－瀋陽線(CZ運航)、大阪－瀋陽線(CZ運航)でもコードシェアを開始する予定です(販売開始10月下旬)。瀋陽市は中国東北地区の交通の要所であり、近年は発展目覚ましい工業都市に成長しています。JALグループの中国乗り入れ地点としては11都市目となります。

また、海南航空とは、新たに中国国内における乗り継ぎサービス「中国西部エクスプレス(WEST CHINA EXPRESS)」を11月1日出発分より開始致します。これはJALグループの中国線を普通運賃でご利用頂くお客様を対象に、東京、大阪、名古屋から北京までJAL便に搭乗し、海南航空で北京から成都、西安へ乗り継ぐ場合、および成都、西安から北京経由でJAL便に乗り継ぐ場合、北京・成都・西安でラウンジをご利用頂ける他、北京での乗り継ぎ専用通路へのご案内によりスムーズで快適な乗り継ぎが可能となるなど、お客様の利便性向上を図るサービスです。

JALグループは、ビジネス・観光ともに魅力ある中国市場での需要拡大を目指し、中国航空会社との提携拡大による相乗効果を生かして日本－中国間の充実したネットワークを築き上げ、より一層お客様の利便性向上を図ってまいります。

“Dream Skyward.” 一空に限りない夢とよろこびを。一

日本発最大の中国線ネットワークを持つJALグループの翼にどうぞご期待ください。

* 中国東方航空、中国南方航空とのコードシェアにつきましては政府認可申請中です。

添付：提携航空会社の概要

以上

【中国南方航空】

中国南方航空は1991年2月1日に中国民航広東管理局から独立し、中国3大航空会社(中国南方航空、中国東方航空、中国国際航空)の中で最大。旅客数、路線数などでは国内第1位。広東省の広州を拠点とし、また瀋陽を拠点とする中国北方航空を統合した。ボーイング737、757、777、エアバスA320を含む109機を保有。666路線、週間2,907便を運航し、85都市に乗り入れ。オンライン予約・チケット販売など、eコマース・システムの改善に積極的。

【中国東方航空】

中国東方航空有限公司は1998年6月25日に中国民航上海管理局から分離の上、独立の企業法人として設立された。本社所在地は上海。02年10月11日、中国雲南航空と中国西北航空(拠点は西安)を統合した。上海(虹橋,浦東空港)、西安空港、昆明空港をベースとし、保有機材142機、従業員2万5千人、368路線の規模を持ち、海外28都市間で運航している。

【海南航空】

中国国内第1号の民間航空会社(1993年設立)。海南省の海口市を拠点に事業展開。十年間で中国の長安(拠点は西安)、山西、新華(拠点は北京)航空を吸収し、中国南方航空／中国東方航空／中国国際航空に次ぐ第4の企業グループになっている。特に新華航空を吸収したため、今後北京を中心に事業展開をする見込み。ボーイング767、737、ドルニエなどを含む83機を保有。運航都市70都市、国内路線を中心としている路線が485本。米国著名投資家ジョージ・ソロス氏が経営する空運投資会社が同社株式の14.79%を取得。

JALグループ中国路線における中国企業との提携状況 ^{**}

